

「さがみロボット産業特区」の取組で開発を支援した 介護事業所向け介護ソフトがリリースされます！

－介護現場の生産性向上と利用者の QOL 向上を支援－

県では、「さがみロボット産業特区」の取組によって、生活支援ロボットの実用化・普及を通じた地域の安全・安心の実現を目指しています。

このたび、令和6年度「介護ロボット実用化促進事業」で、介護現場の生産性向上と利用者の QOL 向上に資する新機能の開発を支援した、介護事業所向け介護ソフトがリリースされますので、お知らせします。

○「SCOP」(スコープ)

今回開発した 機能の概要 等	<p>SCOP(Smart Care Operating Platform)は、介護ケア記録、介護請求、介護ロボットの統合管理など様々な機能を持ったスマート介護プラットフォームです。</p> <p>1 介護事業所の生産性向上・経営改善に係る機能 デジタル(中核)人材育成数、介護ロボット・ICTの導入状況、総業務時間、有給休暇などを記録し、運営状況を把握することができます。</p> <p>2 介護事業所における利用者のQOL向上に係る機能 日中活動、コミュニケーション、笑顔等を記録し、心理状態を把握する機能や、利用者のバイタル、食事、排泄、睡眠の記録から健康状態を把握する機能があります。</p> <p>3 生産性向上推進体制加算の取得に係る機能 令和6年度介護報酬改定によって追加された生産性向上推進体制加算取得申請に必要なデータを記録し、申請の補助資料を出力できます。</p> <p>4 自治体向け機能 SCOP のデータ基盤導入済みの介護事業所について、上記データなど、介護事業所の取組状況を自治体が把握できるようになります。</p>
----------------------	--

画面イメージ	<p>自治体向け機能の画面イメージ</p>  <p>(画像提供:株式会社善光総合研究所)</p>
開発者・問合せ先	<p>株式会社善光総合研究所 カスタマーサポート (東京都港区南青山 6-6-22) E-mail: scop_cs@zenkou-lab.co.jp</p>
利用料	<p>無料(一部有料機能もあり、詳細は開発者にお問い合わせください。)</p>
特区での支援内容	<p>令和6年度「介護ロボット実用化促進事業」において、行政で必要となる機能を協議し、開発の支援を行いました。 国や県との協議を通じて得られた知見が実用化に役立てられています。</p>
リリース日時	<p>令和7年1月 16 日(木曜日)14 時 00 分</p>

問合せ先

神奈川県産業労働局産業部産業振興課
 課長 高橋 電話 045-210-5630
 さがみロボット産業特区グループ 星野 電話 045-210-5650